

進路だより



第2号
令和8年7月13日
金沢支援学校
連携支援グループ
進路支援チーム

梅雨の蒸し暑い日が続いた6月でしたが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

6月は、高等部の校内・現場実習を実施しました。「現場実習」では、企業や福祉事業所での実習を通して、これまで学校で身に着けた力を発揮しながら、一人ひとりが目標をもって取り組みました。「校内実習」では、働くことを意識し、挨拶や報告・連絡・相談を大切にしながら集中して作業に取り組む姿が見られました。

今月号では、「校内実習」での作業の様子をご紹介します。



高Aでは、3学年合同で2週間の校内実習を行いました。「グリーンコーポレーション」の社員の一員として、サシェの製作に取り組みました。「素材班」「縫製班」の2つの班に分かれて、それぞれに合った作業内容や道具を使いながら2週間集中して取り組むことができました。素材班では、ドライフラワーをお茶パックに詰める作業やサシェの紹介カードづくりを行いました。また縫製班では、布を割り、ミシンで縫う作業に取り組み、サシェの巾着袋を作りました。それぞれの班で、挨拶や報告、作業に自分なりの方法で一生懸命に取り組むことができ、貴重な機会となりました。



シール貼りやコード拭き、パンフレットの仕分け、アルミはがしなどの作業に真剣に取り組むことができました。一方で、長時間同じ作業を続ける際には集中力を維持することや、最後まで責任をもって働き続けることに課題が見られました。また、分からないことや困ったことがあったときに、自分から早めに報告・連絡・相談をすることの大切さを学ぶことができました。働く上では正確に作業するだけでなく、周囲と情報を共有しながら協力して進めることが重要であると気づき、今後の課題として意識を高めることができました。今回の経験を通して、社会で働くためには責任感や継続して取り組む力、そして周囲との円滑なコミュニケーションが欠かせないことを実感することができました。

分教室 2 年



「職場の雰囲気慣れよう」「うまくいくためのコツをつかもう」「自分のチャレンジを評価しよう」の3つを合言葉に、2週間の校内実習を行いました。受注作業（中敷き折り・着物の解体・スタンプ押し・封筒作り・ベルマーク仕分けとカット）、アイロンビーズの仕分けと制作、メモ帳制作、野球ボール製造など、さまざまな作業に取り組みました。実習を通して、「自分に向いている作業は何だろう?」「集中力を維持するためにはどうすればよいか?」「働く場にふさわしい行動とは何か?」など、実習を通して考えることができていたように思います。最終日には、皆のやりきった笑顔が素敵でした。実習を通して新しい自分に出会えたのではないのでしょうか。大きな成長を感じた2週間でした。

分教室 3 年



分教室3年生では、初めて3週間の実習に取り組みました。封筒作り・中敷き折り・スタンプ押し・ドレス解体・PC入力・シール貼りなど受注作業を中心に様々な作業に取り組みました。外部からいただいた、大切な商品を扱う中で、「責任を持って質の高い作業を行うこと」を心がけました。生徒によっては作業の中で自分なりの工夫を編み出すこともあれば、お互いに作業手順を教え合い協力する場面も見られました。また、様々な作業にそれぞれ積極的にチャレンジし、新たに自分の得意な作業に気づくこともできたようです。一生懸命取り組んだ校内実習、より一層社会人に近づいた3週間になったのではないのでしょうか。

個別の事業所見学について

高等部を対象に事業所見学を随時受け付けております。見学希望の方は連絡帳等で・希望事業所・希望日時（3日ほど候補を挙げてください）を担当までお知らせください。（事業所への直接連絡はお控えください）見学の際は、サンダル、短パンや華美な服装は控えてください。事業所の方の活動に支障が出ないように静かに見学をお願いします。